

第2号議案 【平成29年度事業計画(案)について】

とうほく自動車産業集積連携会議 平成29年度事業計画(案)

「とうほく」は、コンパクトカーをはじめとする環境対応自動車など、世界に発信できる自動車の生産・開発拠点の形成を目指し、次の事業を実施する。

戦略Ⅰ 幅広い分野の企業集積

自動車関連企業の進出・地域定着と地場企業の参入を進め、幅広い分野の関連企業の集積を促進

① 関連企業の進出促進

- 研究開発機能や高機能部品等の誘致に向け、自動車メーカー等への各県知事によるトップセールスを実施
- 当連携会議や東北の自動車産業集積に向けた取組みを対外的にPR
 - ・ 当連携会議リーフレットや東北企業マップ等を活用し、商談会等の場において、東北の取組みや企業集積の状況について対外PRを強化
 - ・ 新聞への広告記事掲載等による全国や中京地区へのPRを実施
- 北海道自動車産業集積促進協議会との相互交流、事業連携を促進

② 地場企業の参入促進

- 東北の地場企業の技術力を自動車メーカー・グループ等に対してアピールする商談機会等の提供
 - ・ とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会の開催(トヨタグループ向け)
時期：平成30年2月1日(木)～2日(金)
場所：トヨタ自動車(株)本館ホール(愛知県豊田市)
- 当連携会議及び各県協議会のホームページ等を通じ、東北の自動車産業集積に向けた取組み、セミナー等各種事業に関する情報を発信

③ 企業間交流・連携の促進

- 進出メーカーと地域企業との交流機会の創出、セミナー等の開催
 - ・ 総会・講演会・交流会
時期：平成29年7月10日(月)
場所：青森県青森市 ホテル青森
講演会・講師：トヨタ自動車株式会社 常務役員 榎 祐治 様
- 広域での受発注取引あっせん情報の窓口設置と産業支援機関相互の受発注取引あっせん情報の融通による取引支援
- 企業見学・企業の情報交換など企業間連携を図る機会の創出

戦略Ⅱ 競争力のある生産拠点

設計開発機能の強化や生産技術の高度化を推進し、競争力のある車両・部品の生産を促進

① 設計開発機能の強化

- 今後東北での生産拡大が見込まれる分野（エンジン、ハイブリット部品等）への理解促進を目的としたセミナー・勉強会等の開催及び各県協議会等が開催する各種セミナー等への相互参加を促進

② 生産技術の高度化

- 各県の自動車関連アドバイザーや産業支援機関等による東北域内企業の掘起し、商談会後の取引に向けたフォローアップなどの取組みを広域的に推進
 - ・ 商談会出展企業への提案内容のブラッシュアップ指導、商談会後の取引に向けた助言・指導
 - ・ 各県アドバイザーの専門性を広域で活用するため、県境を越えた企業への指導等を実施

③ 提案力の強化

- 各県アドバイザーによる助言及び商談会へ向けた研修会の実施

戦略Ⅲ 次世代技術の開発拠点

広域的に産学官が連携し、次世代の自動車に求められる技術の研究開発を促進するとともに、製品化・実用化を意識した取組を推進

① 競争力を高める次世代技術の開発

- 各県が推進する次世代自動車関連のプロジェクトの相互連携を図り、東北進出メーカー・地域企業・大学等との共同研究を促進

② 研究開発の実用化

- 「東北自動車イノベーション創出会議」（東北経済産業局）との連携を踏まえた施策による技術開発の推進
- 自動車部材の軽量化を目的に、中東北3県公設試技術連携推進会議（IMY 連携会議）において、アルミニウム合金の組織改良による機械的性質向上や複雑形状製品の非破壊検査技術、溶湯評価技術、超精密加工技術などの研究開発を推進

戦略Ⅳ 人材の育成・供給拠点

産学官が連携し、高度化・多様化する自動車産業において求められる知識や技能を有する人材を東北全体で継続的に育成

① 就学段階からの人材育成

- 大学や高等専門学校等による人材育成及び中高生等を対象としたものづくり教育の推進

② 企業ニーズに応じた人材育成

- 各県人材育成プログラムの情報の一元化と各県協議会等が開催する人材育成事業等への相互参加を促進

その他

「とうほく自動車関連産業振興ビジョン」（平成26年度～29年度）が最終年度となり、平成30年度からの次期ビジョン策定に向け検討を行う